

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 15 日 (2020.10.15)

【公開番号】特開 2020-137896 (P2020-137896A)

【公開日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-036

【出願番号】特願 2019-37024 (P2019-37024)

【国際特許分類】

A 4 7 L 13/16 (2006.01)

D 0 1 D 5/04 (2006.01)

D 0 4 H 1/4382 (2012.01)

D 0 4 H 1/728 (2012.01)

B 0 8 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 13/16 A

D 0 1 D 5/04

D 0 4 H 1/4382

D 0 4 H 1/728

B 0 8 B 1/00

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 21 日 (2020.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メジアン繊維径が 100 nm 以上 2000 nm 以下である単繊維の絡合によって保形されている不織構造体を備え、

前記不織構造体は、見かけ密度が 0.05 g/cm^3 以上 0.60 g/cm^3 以下であり、

前記単繊維がイオン性界面活性剤を含む、洗浄用部材。

【請求項 2】

前記不織構造体がシート状であり、該不織構造体に対する水滴の浸透時間が 1 分以内である、請求項 1 に記載の洗浄用部材。

【請求項 3】

前記単繊維は樹脂と前記イオン性界面活性剤とを含む混合物である、請求項 1 又は 2 に記載の洗浄用部材。

【請求項 4】

前記不織構造体は、その空隙率が 30 % 以上 75 % 以下である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の洗浄用部材。

【請求項 5】

累積細孔容積を細孔径の対数値で微分した細孔容積分布において、50 μm 以下の細孔径の範囲にトップピークを有し、且つ 50 μm 超の細孔径の範囲にトップピークを有していない分布を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の洗浄用部材。

【請求項 6】

支持部材を更に備え、

前記支持部材と前記不織構造体とが互いに接するように配されている、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の洗浄用部材。

【請求項 7】

前記イオン性界面活性剤の含有量は、前記単繊維の全構成成分 100 質量部に対して、2 質量部以上 10 質量部以下である、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の洗浄用部材。

【請求項 8】

メジアン繊維径が 100 nm 以上 2000 nm 以下である単繊維の絡合によって保形されている不織構造体を備え、前記不織構造体は、見かけ密度が 0.05 g/cm^3 以上 0.60 g/cm^3 以下であり、前記単繊維がイオン性界面活性剤を含む洗浄用部材の製造方法であって、

イオン性界面活性剤を含む電界紡糸用組成物の溶液又は熔融液を電場中に吐出し、電界紡糸法によって紡糸して、単繊維の堆積体を形成する工程と、

前記堆積体を押圧して、見かけ密度が 0.05 g/cm^3 以上 0.60 g/cm^3 以下の不織構造体を形成する工程と、

前記不織構造体に対して加熱処理を行う工程とを備える、洗浄用部材の製造方法。

【請求項 9】

前記堆積体に、 10 N/cm^2 以上 100000 N/cm^2 以下の圧力を加えて、圧縮成形体である不織構造体を形成する、請求項 8 に記載の洗浄用部材の製造方法。

【請求項 10】

厚みが 0.04 mm 以上の前記不織構造体を形成する、請求項 8 又は 9 に記載の洗浄用部材の製造方法。